

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

<土づくりの使用資材・肥料について>

使用量はkg/10a

【慣行農法との比較】

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績			
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg
発酵鶏糞	鶏糞	JA	3.2	0	6		3			元肥	400	3月	1	0.0	400	3/18	1	0.0
千代田化成550	リン酸アンモン	JA	15	15	15		10			元肥	20	3月	1	3.0	20	3/18	1	3.0

\*化学肥料

窒素分で比較して 当地比	7	削減
化学肥料	窒素使用量 (kg/10a)	
慣行使用量	12	
実績使用量	3	

\*節減対象農薬

当地比	1	削減
節減対象農薬	使用回数	地域の慣行防除
土壌消毒剤		
除草剤		
殺虫剤		
殺菌剤		
その他薬剤		
合計	19	22

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

使用量/10a

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数上限	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺菌	デランフロアブル	ジチアノン	JA	殺菌	200	300L	3月	1	1	200	300L	3/20	1	1	1	1
殺菌	ホライズンドライフロアブル	シモキサニル・ファモキサドン	JA	殺菌	2500	200L	5月	1	2	2500	200L	5/10	1	2	3	3,3
殺菌	ジマンダイセン水和剤	マンゼブ	JA	殺菌	1000	200L	5月	1	1	1000	200L	5/10	1	1	2	2
殺菌	リドミルゴールドMZ	マンゼブ・メタラキシルM	JA	殺菌	1000	200L	5月	1	2	1000	200L	5/23	1	2	2	2,2
殺虫	アグロスリン水和剤	シパルメトリン	JA	殺虫	1000	200L	5月	1	1	1000	200L	5/23	1	1	5	5
殺菌	ランマンフロアブル	シアゾファミド	JA	殺菌	2000	300L	6月	1	1	2000	300L	6/8	1	1	3	3
殺菌	オンリーワンフロアブル	テブコナゾール	JA	殺菌	2000	300L	6・7月	2	2	2000	300L	6/8、7/9	2	2	3	3
殺虫	ダニコングフロアブル	ピフルブミド	JA	殺虫	2000	300L	6月	1	1	2000	300L	6/8	1	1	1	1
殺菌	パレード15フロアブル	ピラジフルミド	JA	殺菌	2000	300L	6月	1	1	2000	300L	6/20	1	1	2	2
殺菌	ベトファイター顆粒水和剤	シモキサニル・ベンチアパリカルブイソプロピル	JA	殺菌	2000	300L	6月	1	2	2000	300L	6/20	1	2	3	3,3
殺虫	ディアナWDG	スピネトラム	JA	殺虫	5000	300L	6月	1	1	5000	300L	6/20	1	1	2	3
殺虫	テッパン液剤	シクラニプロール	JA	殺虫	2000	250L	7月	1	1	2000	250L	7/7	1	1	2	2
殺菌	ファンタジスタ顆粒水和剤	ピリベンカルブ	JA	殺菌	3000	250L	7月	1	1	3000	250L	7/19	1	1	3	3
殺虫	アーデントフロアブル	アクリナトリン	JA	殺虫	2000	250L	7月	1	1	2000	250L	7/19	1	1	4	4
殺菌	ICボルドー66D	銅	JA	殺菌	50	250L	8・10月	2	0	50	250L	8/10	1	0	-	-

**施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）**

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績			
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg

**病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）**

使用量/10a

分類	商品名	原料	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数上限	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺虫	ダントツ水溶剤	クロチアニジン	JA	殺虫	2000	250L	8月	1	1	2000	250L	8/10	1	1	3	3

備考:

今作の防除は、これで全てです。

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)
1月		
2月		
3月	施肥、防除	
4月	一部被覆フィルムの被覆	一部被覆フィルムの被覆
5月	新梢の誘引テープの捨枝、防除	新梢の誘引、光反射シートの敷設
6月	ジベレリン処理、防除	ジベレリン処理
7月	ジベレリン処理、袋掛け、防除	ジベレリン処理、袋掛け
8月	水やり、防除	水やり
9月	収穫 9/中～	
10月	収穫、防除	
11月	収穫 ～11/上	
12月	剪定	

収穫開始:	令和6年9月中旬
終了:	令和6年11月上旬